

第47回応用言語学講座公開講演会

主催：名古屋大学大学院国際言語文化研究科応用言語学講座

後援：名古屋大学大学院国際言語文化研究科 教育研究プロジェクト経費
「人文学としての言語学・応用言語学若手研究者の発信力強化プロジェクト」

共同活動場面の言語使用：身体と協応することば

講師：伝 康晴先生（千葉大学文学部教授）

我々の日常の言語使用は、生活の中でのリアルな動機や目的に基づく活動の場面に埋め込まれて繰り広げられます。食事、家具の組み立て、習い事、屋外でのリクレーションなど、さまざまな活動が我々の言語使用の場となります。これらの場面では、他者との間でことばや身体を用いた共同活動に従事することが多々あります。本発表では、それらの共同活動場面に注目し、指示詞や倒置構文といった、従来、文法研究の枠内で論じられていた現象について、ことばと身体の協応という観点から再考したいと思います。

✓日時：2017年3月4日(土) 午後3時30分～5時

✓場所：名古屋大学・東山キャンパス 文系総合館7階カンファレンスホール

(<http://www.nagoya-u.ac.jp/access-map/> の「B-4-4」)

✓交通案内：地下鉄名城線「名古屋大学駅」①番出口徒歩5分

入場無料・事前申し込み不要

お問い合わせ：堀江薫 <horie@lang.nagoya-u.ac.jp>